

広報ほんべつ

本割

いいひと いいまち いきいきほんべつ
HONBETSU

2020
March
No.1097 **3**月

表紙 ほんべつ豆まかナイト2020
「激!豆まき!」



Pick up

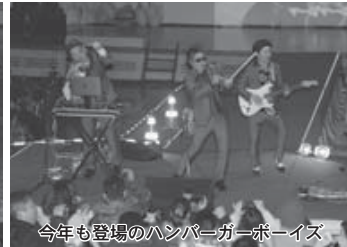
- ✿ ほんべつ豆まかナイト2020・道の駅「ステラ★ほんべつ」冬あがり
- ✿ 4月から1年生
- ✿ 歴史散歩 その8 最終回



コスプレで会場を盛り上げた
十勝サブカルチャー振興推進サークル モノクローム



佐藤実行委員長



今年も登場のハンバーガーボーイズ

午後3時に義経太鼓の演奏で開豆(開会)し、イベントの成功を祈願して豆祈禱が行われ、会場には、豆風呂に豆スライダーが設置されるなど子供たちの人気を集めました。今年も、本別中学校美術部の協力により巨大テージ上で披露されたほか、祈願豆浴び!やわんこ黒豆うどん選手権、ハンバーガーボーイズのライブなどが行われ、来場者たちは大いに盛り上がり、また、メインイベントの激!豆まき!は午後6時30分に開始し、鬼に扮した子育て支援センターほん

飛び交う大豆で熱気に包まれる!

べつの職員や消防署員、鬼嫁、十勝発信のユーチューバーなど11組の多彩な鬼たちが次々とステージに登壇。ゴグルを装着し会場いっぱい詰めた参加者たちは、用意された大豆を鬼たちに元氣いっぱい投げつけ、会場内は熱気に包まれました。豆まきの最後には、佐藤実行委員長がラガーマン姿で登場し、「6回目の今回が過去最高の来場者。皆さんとワンチームで日本一の豆イベントにしたいきます」とあいさつした後、温泉ペーパー泊券が当たる餅まきが行われ、閉豆(閉会)しました。



わんこ黒豆うどん



個性豊かな鬼たちが登場した激!豆まき!



豆のまち本別町を盛り上げようと、ほんべつ豆まきナイト実行委員会(佐藤隆史実行委員長)が主催して、「ほんべつ豆まきナイト2020」が1月25日、町体育館で開催されました。今回使用した本別産大豆は2トン超え。今年もユニークな豆まきイベントとして多彩な内容で催され、町内外から過去最高の1200人が来場しました。

イベントを主催する実行委員会は、商工会青年部、農協青年部、農協・役場職員組合青年女性部の4団体が結成され、運営にあたりました。町内の子供たちが鬼退治専用大豆育成地で、は種した大豆を使用するなど、まさに一年がかりの取り組みで、本別の活気を生む若者たちが一つになったイベントです。



子供たちに大人気の豆風呂に豆スライダー



本中美術部による巨大豆アート



祈願豆浴び!



豆祈禱



豆マルシェ



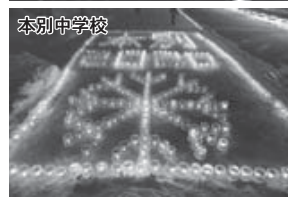
認定こども園ほんべつ



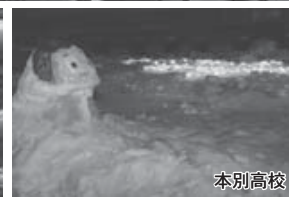
道の駅西側ロータリーが暖かい光に包まれる



中央小学校



本別中学校



本別高校



フードコーナーで暖かい食べ物を堪能



アイスクャンدلで飾られた元気くん



本別消防署前に作られた滑り台



チューブ滑りを楽しむ子供たち



恒例の宝探しに子供たちが夢中



幻想的な夜を演出



るうそくの暖かい光を楽しむ家族連れ



第4回 道の駅 「ステラ★ほんべつ」 冬あかり

暖かい光に包まれ
冬のイベントを満喫！

午後4時から行われた点灯式では、柏崎実行委員長が「心を込めて作ったアイスクャンدلに火を灯して、今日一日楽しんでください」とあいさつを述べた後、認定こども園ほんべつの子供6人が、花火の合図とともにキヤンドルに点火。続いて、本別中学校や本別高校の生徒、ボランティアスタッフがロータリー周辺に並べられたアイスクャンدلに次々と火を灯しました。
当日は、同道の駅東側広場にミニ滑り台が設置され、何回もチューブ滑りを楽しむ人や雪の中からカプセルを探し景品をゲットする恒例の雪中宝探しも、フードコーナーでは、本別産野菜などをふんだんに使った豚汁や熱々の黒まんなどが登場し、暖かい食べ物や飲み物を買い求める多くの人が賑わいました。
来場者たちは、キヤンドルの暖かい光に包まれながら、冬の一夜のイベントを満喫しました。



子供たちによるアイスクャンدل点灯式

第4回道の駅「ステラ★ほんべつ」冬あかり（実行委員会主催 柏崎秀行実行委員長）が2月1日、同道の駅周辺で開催され、約2000個のアイスクャンدلが真冬の本別の市街を彩り、幻想的な夜を演出しました。

最終回は、1枚の古い写真が語る「人とまちの歴史」を紹介합니다。
(担当=歴史民俗資料館)



本別農業倉庫工事

農業と他の産業の関わり

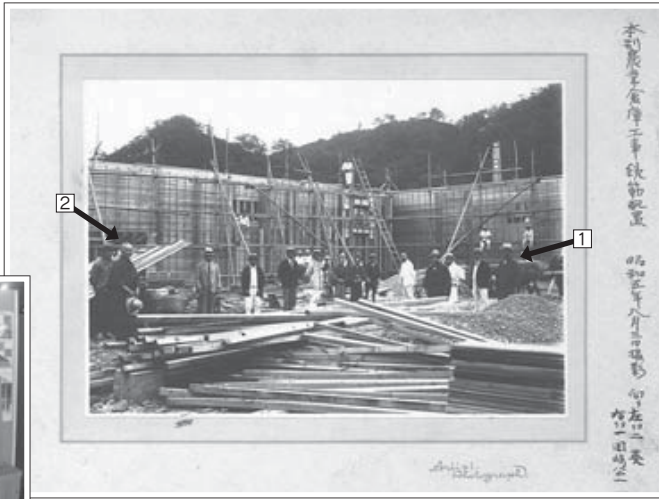
昭和5年



② 岡崎公一翁 (1886~1947)



③ 資料館「本別空襲の爪跡」コーナー (弾痕が残る壁の一部を常設展示)



① 本別農業倉庫工事鉄筋配置 (昭和5年8月3日撮影)

余談ですが...
写真①は本文でも触れた井出英作さんが残した資料の中から見つかりました。写真部分の原寸は125mm×175mm、厚紙の立派な台紙に納まっています。台紙について、誰が・何をしているかが書かれていますので、とても貴重なものと言えます。

お問い合わせ
歴史民俗資料館
☎ 22-2141 (内410)
図書館
☎ 22-5112

明治末期から豆類を始めとした雑穀の取引が盛んになり、農産物の検査や計画的な出荷が課題となってきました。そこで重要な働きをするようになったのが倉庫です。
十勝では、大正元年に帯広で農産物の貯蔵倉庫会社が設立、農業が倉庫業、加工業、運送業などと結びついて発展し、地域経済を大きく動かしました。
本別でも、同2年に産業組合が結成され、同5年に本別駅前倉庫が建設されます。その後は事業の拡大によって次々と関連施設が整い、昭和5年に第3号農業倉庫(通称大通り倉庫)が新設されました。
写真①は、その工事中の様子です。建坪270坪(約891平方メートル)、コンクリート造りのこの倉庫は、当時十勝でも最大規模でした。また、写真右上に高い看板が写っていて、「株式会社山中商会本別木工場」と読めます。本別駅裏(東側)には多くの木工場の土場があり、ここに「木材のまち本別」の姿も見ることができます。

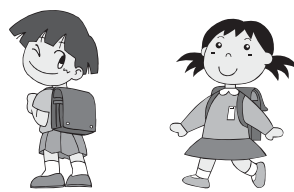
実はこの写真に、林業発展の功労者で「本別開拓八翁」の一人である岡崎公一さん(写真②)が写りこんでいます(矢印①)。「本別町農業史」によると、同倉庫は本別産業組合が岡崎さん所有の土地を買い取って建てたもので、撮影時に岡崎さんが現れたと思われまふ。当時の産業組合の組合長は、同じく八翁の一人井出英作さん(矢印②)「歴史散歩その2」で紹介されています。そこから、人のつながりと主幹産業の密接な関わりが、「豆のまち」「木材のまち」本別を築いてきたと言えるでしょう。一方、この倉庫は昭和20年7月15日に空襲を受け、屋根が焼失しました。しかし分厚いコンクリートの壁は残り、庫内の食糧を守りました。その時の銃弾痕が壁に残っていたので、貴重な戦争跡地として知られていましたが、老朽化などにより、平成25年に取り壊されました。現在はその一部が歴史民俗資料館内に鎮座して、町の歴史と平和の大切さを物語っています(写真③)。

- 本別中央小学校 (28人)**
- 青木 蒼空
 - 阿部 香音
 - 井上 颯音
 - 植田 亮颯
 - 内田 奈亮
 - 大河内 青奈
 - 神野 莉子
 - 岸田 斗真
 - 北田 梨紗
 - 栗林 梨紗
 - 榊 菜
 - 高橋 秋
 - 千田 羽
 - 土田 壮
 - 遠山 峰
 - 島山 蓮
 - 高橋 秋
 - 羽根 秋
 - 田村 秋
 - 高橋 秋
 - 豊

- 勇小学校足 (4人)**
- 遠藤 綺
 - 加藤 斗乃
 - 今野 美
 - 山田 平

- 仙美里小学校 (4人)**
- 鎌田 悠
 - 山田 音
 - 高橋 音
 - 湯山 依

(2月21日現在)



町教育委員会では、今年4月に小学校へ入学する児童の名簿を作成し1月末に保護者宛に就学通知書を送付しています。今年の新1年生は、平成25年4月2日から平成26年4月1日までに生まれた児童で、本別中央小学校28人、勇足小学校4人、仙美里小学校4人の合わせて36人です。該当する人でお名前がない、または、就学通知書が届いていない人がいましたら、早めに教育委員会管理課学校教育担当(☎2212331)にご連絡ください。
※個人情報保護により保護者から了解を得た対象児童のみ掲載しています

- 南木 未和
- 二木 心
- 羽賀 望
- 原井 天
- 松井 湊
- 谷内 耀一朗
- 内田 一朗
- 柳沢 遼太郎
- 矢部 穂
- 山崎 佑斗
- 山崎 香



平成31年度 仙美里小学校入学式

スケートに挑戦！

119

小学校就学前の幼児を対象に幼児スケート教室（本別スケート協会主催＝齊藤伸幸会長）が1月19日、町民スケートリンクで行われました。参加した町内の幼児9人は、準備体操のあと、保護者にスケートをはかせてもらい、さっそく氷上へ。同協会会員の指導のもとつるつるとした氷に苦戦しながらも、立ち方や歩き方などスケートの基礎を楽しく学びました。



110番の日に合わせて 啓発活動

110

本別警察署（中野浩一署長）が1月10日、フクハラ本別店前で110番の日になんだ街頭啓発活動を行いました。この日は、同署員7人が反射材やポケットティッシュなどを来店者に手渡ししながら、110番通報の適切な使用や相談専用ダイヤルの利用を呼び掛けたほか、併せて啓発チラシを配布しながら交通事故や特殊詐欺被害への注意を促しました。



百歳おめでとうございます 町敬老祝い金の贈呈

阿部けごよさん（向陽町）が1月19日に100歳を迎えられ1月20日、町特別養護老人ホームで高橋正夫町長から敬老祝い金が贈呈されました。

けごよさんは大正9年に宮城県でお生まれになり、規久雄さんと結婚。昭和14年に北海道に渡り、その後勇足元町に移住され、旧森商店（北3丁目）に夫婦で勤務しながら7人の娘さんを育て、孫、ひ孫、やしゃご合わせて12人に恵まれました。平成22年から同老人ホームに入所しており、100歳を迎えられたことについて家族は「施設の職員の方皆さんにお世話になりおかげで長生きすることができました」と喜びを語りました。



大島義次さん（勇足東4）が1月20日に100歳を迎えられ、本別温泉グランドホテルで高橋正夫町長から敬老祝い金が贈呈されました。

義次さんは、大正9年に本別町でお生まれになり、和子さんと結婚。農業を営みながら1男3女のお子さんを育てられ、孫8人、ひ孫10人に恵まれました。現在は、長男の義行さんと孫など7人で暮らしており、大きな病気もなく元気に生活しています。100歳を迎えられた気持ちについて尋ねると「気づいたら100になっていた。本別町の皆さんに大変お世話になり、また家族に大切にしてもらい幸せです」と思いを語りました。



学校教育目標

- ◇ よく考える子
- ◇ 思いやりのある子
- ◇ ねばり強い子
- ◇ 明るく元気な子

教育目標実践化

- あ あいさつ
- い 一生懸命
- う 美しい歯
- え 笑顔
- お 思いやり

各学校の手作りページ

HELLO 勇足小学校

徳島県小松島市立江小学校と 勇足小学校との交流事業

平成3年7月から始まった徳島県小松島市立江小学校との交流も29回目となりました。

2年に1度お互いを訪問し、今年度は受け入れの年でした。1月12日から14日の3日間、立江小学校の5・6年生の児童24人と引率者6人の合計30人が来町しました。歓迎集会やバターづくり体験、スケート体験、豆アート・ムックリづくり体験など北海道ならではの体験を通し、交流と友情を深めました。



交流事業におきまして、ご協力くださいました保護者、地域の皆さま、関係団体の皆さま、お力添えいただき大変ありがとうございました。



国民年金
コーナー

産前産後期間の
国民年金保険料が
免除となります！

その215

国民年金第1号被保険者が出産をした際には、出産前後の一定期間において、申請することで国民年金保険料が免除されます。なお、産前産後期間として認められた期間には、保険料を納付したものととして老齢基礎年金の受給額に反映されます。

免除期間

出産予定日または出産日が属する月の前月から4か月間の国民年金保険料が免除されます。

なお、多胎妊娠の場合は、出産予定日または出産日が属する月の3か月前から6か月間が免除されます。

※出産とは、妊娠85日（4カ月）以上の出産をいいます。（死産、流産、早産された人も含みます。）

対象者

国民年金第1号被保険者で、出産日が平成31年2月以降の人

申請方法

次のものを所持し、役場住民課戸籍年金担当窓口または帯広年金事務所まで申請してください（出産予定日の6か月前から申請が可能です。）

- ・ 出産予定日もしくは出産日のおかものマイナンバーカード（個人番号カード）※マイナンバーカードをお持ちでない場合は、マイナンバーがわかるもの（通知カードなど）および本人確認書類（運転免許証など）

Q&A（よくある質問）

- Q 出産後に申請することはできますか？
A 出産後でも申請できます。この場合の産前産後期間は、出産日の属する月の前月から4か月間（多胎妊娠の場合は3か月前から6か月間）です。
- Q 産前産後期間に付加保険料を納付することはできますか？
A 国民年金保険料は免除されますが、付加保険料は納付することができます。産前産後期間の保険料は1か月のうち1か月か？
A 保険料を納付されている場合、産前産後期間の保険料は還付されます。

帯広年金事務所

0155-25-8-13

住民課戸籍年金担当

022-81-28

日本年金機構のホームページ
https://www.nenkin.go.jp/



地域防災活動を応援 120

地域防災活動を担う消防団員やその家族に飲食代等の割引などでサービスする「消防団応援の店」に登録した町内の9事業所へ1月20日、本別消防団伊藤英昭団長から各事業所に認定証を伝達しました。町内の「そば処東家」では、伊藤団長と消防署員が店を訪れ、北海道の認定登録証と「全国消防団応援の店」と書かれたプレートを店主の川崎秀規さんへ手渡しました。※その他の町内登録事業所は以下のとおり
木下クリーニング商会、フォトファクトリー西村、KOYA lab、レストラン秀華、cafeいちご、源すし、ほんべつはりきゅう整骨院、からまつ

自己ベスト目指して滑走 126

本別スケート協会（齊藤伸幸会長）主催の第57回本別町スピードスケート選手権大会が1月26日、町民スケートリンクで開催されました。大会には、町内の幼児から小中高生、一般のほか、上浦幌地区の幼児・小学生も含め46人が出場。選手らは、父母らの声援を受けながら日ごろの練習の成果を発揮し、自己ベストの更新を目指して最後まで力強い滑りを展開しました。



技決め優勝狙う 126

令和元年度の本別町鏡開き少年柔道大会（本別柔道連盟主催＝木南孝敏会長）が1月26日、町柔剣道場で開催されました。大会には、本別柔道少年団の幼児から中学生の15人が出場。4部門の個人戦で予選リーグと決勝トーナメントで優勝を争ったほか、出場者全員で紅白に分かれて団体戦も行いました。選手らは、立ち技や寝技など多彩な技を決めながら、白熱した試合を展開しました。



雪上ゲームに挑戦！ 21

町教育委員会主催のあかげら少年団後期プログラム少年少女冬のレクリエーションの集いが2月1日、河川運動公園芝生広場で行われました。同少年団団員や一般参加も含めた17人の子供たちは、2チームに分かれて、移動玉入れやそり引きりレー、スノーフラッグなどの雪上ゲームに挑戦。寒さを忘れるくらい元気いっぱい体を動かしました。ゲーム終了後は、皆で暖かいおしるこを食べるなどして、お腹も身体も温まりました。



国際平和ポスターで全道最優秀賞 23

ライオンズクラブ国際協会主催の第32回国際平和ポスターコンテストで本別中学校の吉村華瑠さん（2年）の作品が全道で最優秀賞に選ばれ、その表彰式が2月3日、同校で行われました。同コンテストは11歳～13歳の児童・生徒を対象に、今年は「平和の道のり」というテーマで実施。吉村さんは全道の392点の応募作品の中から頂点に立ちました。表彰式では、本別ライオンズクラブ方川一郎会長から吉村さんへ賞状などを手渡しました。作品について吉村さんは「私と同世代の肌の色の違う子供たちがつながり笑顔で歩く姿がポイントで、人とのつながりの大切さを伝えたかった」と思いを語りました。吉村さんの作品はアメリカ・シカゴの同協会本部に送られ、世界規模での審査が行われています。



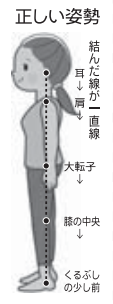
もちつきで地域交流 26

仙美里小規模多機能居宅介護事業所「陽だまりの里」によるもちつき会が2月6日、仙美里地区公民館で開かれました。当日は、陽だまりの里や同地域の介護予防教室の利用者、仙美里保育所の幼児など約100人が参加。餅つき保存会十五夜会会員12人の協力のもと、参加者たちは、3臼のおもちをつき上げ、あんこやきなこ、納豆もちなどにいただきました。この他、仙美里保育所の幼児たちが遊戯を披露するなど、世代を超えた交流で、会場は笑顔に包まれました。



みんなの健康

427



皆さん、姿勢に気を付けていますか？
良い姿勢とは、横から見た時に「耳・肩・大転子（お尻横の骨の出っ張り）・膝の中央・くるぶしの少し前」が直線上に並んだ状態です。背骨は背中が少し丸み、腰が反って、緩やかなS字を描くのが理想

正しい姿勢は病気を防ぐ

的。逆に悪い姿勢とは、頭が前に出て顎が上がリ、猫背で、骨盤が後ろに傾き、股関節や膝関節が少し曲がっている状態をいいます。
では、悪い姿勢でいるとどのような症状が起こるのでしょうか。頭が体より前に出ると首の筋肉が頭を頑張らなくてはならず、慢性的な肩こりや、ひどい場合は頭痛、めまいを起こします。背中が丸まると背筋が伸ばされ筋力が弱くなり、腰痛が起こりやすくなる状態になります。また、脚はがに股になります。膝の変形につながります。

姿勢は、年齢、仕事、生活様式によって大きく変化します。加齢によって背骨の間にあるスポンジが薄くなり、関節も変形しやすくなるため、無理やり姿勢を正そうとすると逆に負担が強くなってしまいます。痛みを感じない程度に動かすところから始めましょう。
正しい姿勢を保つために意識することはただ一つ、「使った方向と反対方向に運動すること。例えば、中腰や座ったまま仕事をしている人は腰を反らす方向に動かす。また、肘掛に一方の肘をついて座っていた場合は反対側に体を傾けたり、ねじったりしてみてください。運動の目安は1〜3時間毎に5〜10分程度です。



本別町国民健康保険病院 理学療法士 矢部英人

少しずつ暖かい日が増えてきました。病気を予防するためにも、姿勢を保つ運動を心掛けてみましょう。

未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。
お父さん、お母さんのたくさんの愛に囲まれてぐっぐぐと元気に育つてね！



北6丁目 各務有祐くん (仙美里小)



※写真は本人に了承を得た上で掲載しています。

銀河ホップアップイベント

足寄町

3月28日(土)
午前10時〜11時30分
(午前9時30分開場)

絵本作家と子どもたちとの講演会
ももちゃんとおまじいひまじい
「ももちゃんあそぼう」シリーズでおなじみの絵本作家とよたかすひさんによる講演会を行います。絵本の読み聞かせや絵本制作の裏話など、大人から子どもまで楽しめるイベントです。ぜひご参加ください。

□おき
□この日
□その他
□お問い合わせ
足寄町図書館
〒25-13189

陸別町

陸別町観光物産館よりお知らせ おすすめのお土産スイーツ

- 第1位 りくべつミルクのおあずけプリン (半冷凍で食べるジャリップリン) プレーン 330円(ほか)
- 第2位 しばれくんつらちゃんまんじゅう (こだわりのモチとしたかわいいまんじゅう) あん・カスタードクリーム 6ヶ入 650円
- 第3位 りくべつまちチョコ (陸別の魅力を伝える限定パッケージのチョコ) ミルク 350円(ほか 全3種 期間限定販売中)



豆のまち本別の歴史に触れる

ほんべつ学第3回冬のまなび「本別の産業・観光の歴史」(町教育委員会主催)が2月6日、資料館企画展「ほんべつ豆ちしき展」の関連講座として、同資料館で行われました。今回は、一般町民など約20人が参加。講師の帯広百年記念館学芸員の大和田さんから、農業をはじめとするさまざまな産業と観光へのつながりや、本別が「豆のまち」と言われるようになった背景について説明を受けました。大和田さんは、「今から約100年前の戦争時代に豆が高騰し、農産物を組織的に集荷や検査、輸送するシステムが構築されたことにより、本別や十勝の産業が発展していった」と話し、「産業の発展や安定により地元意識や観光産業が発展した」と説明しました。参加者たちは、最後に同資料館企画展の展示品を見学し、大和田さんから当時の日記などの説明を受け、豆のまち本別の歴史に触れました。



中央小と仙美里小で交流授業

中央小学校(式見祝賀校長)の3・4年生62人と仙美里小学校(東森誠記校長)の3・4年生8人を対象にした小・小連携の交流授業が2月14日、仙美里小学校で行われました。この取り組みは、本別中学校へ共に入学する両校児童たちが、早い段階から交流していくことで、中学校入学時に学校生活になじめるよう4年前から取り組まれているものです。今回は、中央小児童が仙美里小学校へ初めて訪問。授業では、校内の9つのポイントを巡り探検するウォークラリーを行ったほか、両校児童混成で4つのチームに分かれてドッジボールを行うなど、楽しく交流しました。



まちの情報を広報電算担当へお寄せください ☎22-8121

ご寄付ありがとうございます 令和2年1月16日から2月15日

次の通りご寄付をいただきました。紙上に厚くお礼申し上げます。(敬称略)
★本別町国民健康保険病院指定
金50,000円.....匿名

- ★本別中学校指定
卓球台 2台.....匿名
- ★本別町役場指定
杖ホルダー 20個.....匿名
- 個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付
計金4,502,000円.....274人

本のある暮らし

228

発表! 読まれた本 ランキング

戸籍のまど

お誕生

1月後半から
2月前半の
届出分

井上朝陽くん 大輔さん 1/24 緑町
高橋瑛太くん 裕貴さん 2/4 活込

ご結婚

(村田 勝さん 南2丁目
加藤 亜弥さん 上押帯)

おくやみ


郡 アサ子さん 83歳 1/16 栄町
松井 一利さん 70歳 1/16 新町
新谷 之さん 78歳 1/17 新町
森口 妙子さん 94歳 1/18 清流町
細田 稔さん 88歳 1/19 仙美里3
星 敏男さん 88歳 1/20 弥生町
塚田 房子さん 94歳 1/21 美別高棟
木村 榮さん 98歳 1/22 北8丁目
幕内 由房さん 68歳 1/24 美別高棟
越智 悟さん 85歳 1/28 北3丁目
加藤 才子さん 90歳 2/1 南4丁目
阿蘇 清七さん 88歳 2/2 柏木町
佐々木 文雄さん 91歳 2/3 勇足西3
伊藤 勝弘さん 66歳 2/7 明美
竹田 登さん 70歳 2/7 栄町
小野 トキ子さん 102歳 2/11 共栄
汐川 準一郎さん 82歳 2/12 上本別
福士 悦子さん 66歳 2/13 北7丁目

わたしたちのまち

前月比
人口 **6,883人(-16)**
男 **3,370人(-15)**
女 **3,513人(-1)**
世帯数 **3,611戸(-7)**
〔1月末日住民基本台帳〕

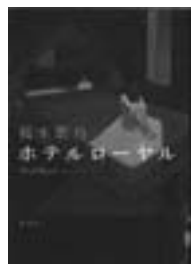
図書館で2019年(1/1~12/31)に貸し出された本のうち、最も利用が多い「小説」の中から、たくさん読まれた本を紹介します。併せて、今までいちばん読まれた本は何かも、図書館システムの利用統計からお知らせします。ベスト6以下の本も3月下旬まで展示しますので、ぜひご利用ください。

★ 2019年のベスト5

順位	書名	著者名
1	 沈黙のパレード	東野圭吾
2	昨日がなければ明日もない	宮部みゆき
2	そして、バトンは渡された	瀬尾まいこ
3	ひと	小野寺史宜
3	スクエア	今野敏

「ガリレオ」強し!
テレビや映画で人気の「探偵ガリレオ」シリーズ第9弾。著者は乱歩賞、直木賞、本屋大賞等を受賞したベストセラー作家です。

★ 2004~2019年のベスト5

順位	書名	著者名
1	 ホテルローヤル	桜木紫乃
2	海賊と呼ばれた男(上)	百田尚樹
3	海賊と呼ばれた男(下)	百田尚樹
4	マスカレード・ホテル	東野圭吾
5	永遠の0(ゼロ)	百田尚樹

利用回数なんと114回!
2013年上期の直木賞受賞作。著者が釧路市出身で、身近な話題となり、図書館では複本を用意して貸出しました。

どちらも、新刊書と文学賞の受賞作・候補作がランクイン。最近人気の「本屋大賞」は、ノミネート作が発表されると同時に予約が入るほど。図書館では、話題の本とその情報を随時「テーマ展示」でお伝えしています。

お問い合わせ先
本別町図書館
(愛称:ぶつくる一丸)
本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112